

# 字幕付きCM素材搬入基準チェック機能オプション (字幕モニターDU-130シリーズのバージョンアップ対応が可能)

## 概要

- 2015年4月に適用された「字幕付きCM素材搬入暫定基準」に準拠したチェック機能を追加します。
- パソコン等を必要とせず、SDIモニタ上で結果を確認することができます。
- 簡単な操作で搬入基準の確認を行う事ができます。
- 字幕モニターDU-130シリーズをバージョンアップすることができます。

## チェック機能

- (1) HD字幕、SD字幕、携帯字幕が必ず重畳されていること。
- (2) 最新字幕クリアまでの間、途切れなく重畳されていること。
- (3) ロール開始後1秒間は、字幕データが重畳されていないこと。\*1
- (4) 字幕ページ間隔が2秒以上であること。
- (5) 最後の字幕クリア後、字幕データ重畳されていないこと。

## 画面表示例

② クリア操作後の最初の字幕タイムコード

③ 最新字幕クリアタイムコード

① 総合判定表示

④ エラー表示

Warning

TM GAP <2S

NCS

HD First字幕 01:00:00.23

HD Last CS 01:00:14.05

SD First字幕 01:00:00.23 TM GAP <2S

SD Last CS 01:00:14.05 NCS

携帯 First字幕 01:00:00.23 TM GAP <2S

携帯 Last CS 01:00:14.05 NCS

LastCSとロール長の差が1秒以上であることを確認してください

NONE : 字幕データなし

TM : 00秒00Fから1秒以下で字幕データがある

GAP : 字幕データが非連続

<2S : 字幕ページ間隔が2秒未満

NCS : 最後の字幕クリア後に字幕データ

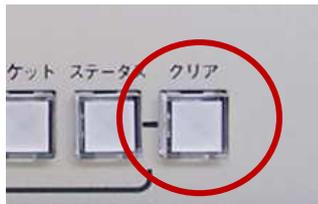
\*1 暫定基準では、「ロール開始後1秒間は、字幕本文データの重畳を行わない」ですが、ロール開始検知の機能は有していないため、表示クリア操作後、最初の字幕本文データ重畳タイムコードを確認してください。CM搬入フォーマットでは00秒00Fが開始基準であるが、1秒以下の場合、タイミングエラーの可能性があるので「TM」と表示します。

また「ロール終了1秒前までに、字幕本文データを確実に消去する」であるが、ロール長判定機能は有していないため、最終字幕クリアパケット重畳タイムコードを確認してください。

## ■ 操作順例

①

字幕モニターの  
クリアボタンを押す



②

字幕表示を確認



文字表示確認

③

ステータス表示に切替  
エラー有無と  
最後のCSとロール長の差が  
1秒以上あるのを確認



チェック確認画面例

**CM素材例  
素材長15秒**

